

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
2	健康推進課	新型コロナウイルス感染拡大防止事業		3,218,677	<u>3,218,677</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.4.1	R3.3.31	健康推進課	098-840-8126

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染防止のため、ハンドソープ・消毒液等を庁舎内及び関係施設へ配布する。
	【対象者】 ④市民、職員、会議・研修・講習参加者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・市内小中学校等18か所にハンドソープ、消毒液等を配布した。
-----------	--------------------------------

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・物資の確保が困難な時もあったが、できる限り購入し小中学校等関係施設に配布することで、感染拡大防止につなげることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・感染拡大期には必要な物資を購入できない場合があるので、平常時の備蓄が重要である。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
3	市民生活環境課	公共的空間安全・安心確保事業	1,806,723	<u>1,806,723</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 2. 検査体制の強化と感染の早期発見		R2.6.1	R3.3.31	市民生活環境課	098-840-8123

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①－新型コロナウイルス感染症対策として自治会等が感染源となることのないよう公民館や集会所、公共施設などの感染予防対策を実施する必要がある。 【対象者】 ④公共施設利用者
-----------	--

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 令和2年6月から令和3年2月にかけて、希望する自治会68自治会に対して、アルコール消毒液を配付。配布量は、自治会の希望に応じて、一斗缶の約半分（8L）から一斗缶+約半分（24L）の範囲で調整した。 - 非接触型体温計（69本）を、希望する自治会へ貸与した。 8月には次亜塩素酸水生成器を市庁舎に設置。また、希望する自治会等へ次亜塩素酸水生成器を配布した。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	コロナウイルスの感染拡大が続く中、自治会にアルコール消毒液、体温計等を速やかに配布することで、感染症対策につながるともに、感染症対策の取り組みとして地域住民の理解を深めることに大いに役立つことができた。 アルコール消毒液は、緊急事態宣言中において販売事業者が少なく、品薄となっていたが、自治会への配布を分けて行うことなど工夫して対応した。自治会からは、要望した物品が届いたことで安心感につながり、その後の感染症対策でも円滑になったとの声があった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	次亜塩素酸水生成器は、感染症対策に効果が高いものとして、保育園や学校で導入実績もあったことから、費用対効果を検討し導入を決定した。 しかし、次亜塩素酸水については、情報が氾濫し、わかりづらいところが多々あったため、情報収集に多くの時間を要してしまった。より効果的な感染症防止対策を取り入れられるよう情報収集に努めていきたい。 今後も自治会の要望に応えられるよう、企画部においては引き続き感染症対策の情報提供に努めてほしい。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
4	建設課	緊急対応型雇用創出（道路環境美化）	10,251,091	<u>10,251,091</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-1. 雇用の維持		R2.7.1	R3.3.31	建設課	098-840-8138

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、雇止め等にあっている市民を緊急雇用し、雇用の継続を図る。
	【対象者】 ④人材派遣会社

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	3名の雇用の場を確保し、生活基盤の安定につなげた。 実施期間は、令和2年6月から令和3年3月末まで 新型コロナウイルス感染症の影響により派遣先を失った糸満市在住の方を対象に、派遣会社から派遣させた。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1 非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が大幅減となり、派遣先のレンタカー会社が雇用できなくなった。 緊急対応型雇用創出により就業機会の確保ができたことと、市内道路の美化作業に従事することにより、道路環境美化が維持された。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	当面の間、観光客の回復も見られないことから、継続的な雇用が必要である。
-----------	-------------------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
5	都市計画課	緊急対応型雇用創出（公園環境美化）		7,351,322	7,351,322	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-1．雇用の維持		R2.7.1	R3.3.31	都市計画課	098-840-8141

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた失業者等を対象に、公園環境の美化業務員として雇用対策を図る。
	【対象者】 ④人材派遣会社

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・新型コロナウイルス感染症の影響により派遣先を失った糸満市在住の方を対象に、派遣会社からの3名派遣を受け入れ、雇用対策を図ることができた。 ・時期は令和2年7月1日から令和3年3月31日。

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が大幅減となり、観光関連の派遣先が無くなり雇用が削減された中で雇用先の確保を行うことができた。市内公園の環境美化を図ることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	観光関連の雇用先は戻りつつあるが、コロナ禍以前には戻っていないと思われる。よって、今後の状況に注視しながら雇用先の確保が求められているものか判断が必要である。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
7	商工水産課、市観光協会	飲食店応援商品券対策事業			13,844,472	<u>13,844,472</u>
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援		R2.6.19	R3.3.19	商工水産課	098-840-8137

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画（P）	【目的、効果】 ①売上に大幅な打撃を受けた飲食業界の救済と収入減少の市民に対し、食のサポートを目的にプレミアム付き商品券の販売を行う。 【対象者】 ④市内一般社団法人
-------	---

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行（D）	- 対象者：糸満市に住民登録がある方（約27,000世帯） - 令和2年10月：広報いとまん、FMたまん、市内10カ所に横断幕設置など事業を周知 - 令和2年10月：商品券販売開始（登録店舗88店） 1次販売2,580冊（36,120枚） - 令和2年12月：2次販売開始 2次販売1,920冊（26,880枚） - 令和3年2月：換金終了 換金率99.1%（販売枚数63,000枚⇒精算枚数62,427枚）
-------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

取組評価	2	効果的であった	成果指標	設定なし
評価（C）	当初、8月15日に販売を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言下に直面したため、商品券開始が10月となった。10月については、販売の売れ行きは好調であったが、他事業「いとまんプレミアム商品券」が11月に開始となり、プレミアム商品券の換金率が高かったことから、12月以降は二次販売が伸び悩んだ。 - 一次販売2,580冊・36,120枚（10/15～18） - 二次販売1,920冊・26,880枚（12/1以降） コロナ交付金充当9,000,000円に対して、31,500,000円（販売冊数4,500冊×7,000円）の販売実績があった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善（A）	- 広報周知の強化 - 商品券販売所の拡充 - 登録店舗の増 - 買いやすい販売価格の設定 - プレミアム率の増
-------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
8	糸満市立学校給食センター	学校給食地域食材購入支援事業			79,994,501	79,994,501
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.6.1	R3.3.31	給食センター	098-994-5800

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休校となり、学校給食食材を搬入する業者は多大な影響を受けた。その業者の需要奮起の一環として、給食食材購入費に充てる。
	【対象者】 ④市給食センター施設管理者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・令和2年6月分から同年9月分までの学校給食食材購入の経費として、学校給食用食材納入業者（18業者）に対し、賄材料費として79,994,501円を支払った。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	・急にキャンセルできない学校給食の食材費を納入業者へ支払うことにより、学校給食の安定的な供給につながった。また、小中学校の臨時休校により、保護者の精神的・経済的負担が大きくなったことから、再開後の学校給食費を無償化することで経済的負担軽減につながった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	特になし
-----------	------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
9	観光・スポーツ振興課、一般社団法人 糸満市観光協会	観光商品創出モニター事業		4,500,000	4,500,000	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンター テインメント事業等に対する支援		R3.1.8	R3.11.30	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた市内観光事業者の救済を目的として、糸満市内宿泊施設の宿泊者に対し「いとまん遊び体験クーポン」を発行し、市内体験プログラムの利用促進を図る。また、プログラム体験者へアンケートの回収やSNS発信等を行ってもらい、今後の観光メニュー開発にいかしていく。
	【対象者】 ④市観光協会

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	○令和3年1月、観光協会に対し、次の目的で業務を委託した。 ・新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた市内観光事業者の救済のため、市内宿泊者に対し①遊び体験クーポン ②ファミリークーポンを発行し、市内体験プログラムの利用促進を図る。 ・プログラム体験者からアンケートを回収、今後の観光メニュー開発に活かしていく。 ○委託業務 令和3年1月～9月・当該事業参加業者（宿泊業者、体験メニュー実施業者）等の登録、14業者、28種クーポン ・クーポン券発行・配布（①1,024枚、②45枚） ・クーポン券回収・集計・支払等（2,498,000円） ・アンケート回収・観光商品創出モニター検証報告（①1,013件、②120件）

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	2 効果的であった	成果 指標	設定なし
	①いとまん遊び体験クーポンアンケート ・参加者が多かったのがバギー体験で全体の4割。・満足度として全体の約8割が満足、メニュー価格はふつうが6割。・次回体験参加は、参加する、機会があれば参加するとの回答が9割近い。・興味がある観光コンテンツは、「パッションフルーツ収穫体験」「宝さがしゲーム」 ②いとまん遊びファミリークーポンアンケート ・回答は、①同様の回答。・興味がある観光コンテンツは、「ホテル観覧会」「宝さがしゲーム」となった。 ・観光事業者への支援にもつながり、参加者の満足度もあった。また、アンケート結果を踏まえた観光事業者が今後のメニュー開発の参考にもつながった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・市内観光事業者の支援には効果があったが、クーポン利用者のSNS発信等の把握ができていない。 ・体験クーポン利用者のリピーターがどの程度あるのか等も不明である。 ・上記を踏まえ、成果指標を設定する際は、利用者の満足度等のアンケートとする。 ・県内宿泊者等を対象としたクーポンとしているが、県外向けへのクーポン発行も検討する
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体		交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
10	商工水産課、市観光協会、沖縄県行政書士会		持続化給付金等の相談及び申請支援窓口の設置事業		10,735,176	<u>10,077,695</u>	
単独/補助		経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独		Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援		R2.5.15	R3.3.15	商工水産課	098-840-8137

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①糸満市内の個人事業者や中小企業に対し、国・県が実施する新型コロナウイルス感染症対策の持続化給付金・家賃支援給付金・緊急支援金・協力金の相談及び申請支援、中小企業セーフティネット融資等の経済対策の相談・案内を沖縄県行政書士会の会員をもって、実施することを目的とする。
	【対象者】 ④沖縄県行政書士会

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	実施内容：市内事業者へ持続化給付金受給の申請支援及びその他給付金受給の相談 広報：5月中旬（関係団体へ周知依頼、HP、広報誌） 実施期間：令和2年5月15日から令和3年1月15日まで 相談件数：1812件 申請件数：806件（持続化給付金申請件数：712件 家賃支援給付金申請件数：94件）
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	持続化給付金をもらうに当たり、申請ができない（又はやり方が分からない）事業者が多くいたことから、申請支援及び相談を行ったことは非常に効果的であった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	持続給付金事業は、世間的に知られていたこともあり、周知においても問題なかったと考えることから、特に改善点はない。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
13	学校教育課	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業		1,876,000	<u>1,876,000</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R3.1.20	R3.3.31	学校教育課	098-840-8165

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症対策により臨時休校が長期化したことで、心理的不安を抱える児童生徒をスクールカウンセラーによる相談を通して心理的不安軽減を図る。
	【対象者】 ④学校施設管理者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 県が設置するスクールカウンセラーを活用し、糸満市内の小中学校にスクールカウンセラーを配置。 - 令和3年1月に3H、2月に102H、3月に364Hのカウンセリングを実施。 1月：兼城小（3H） 2月：兼城小（11H）、高嶺小（6H）、真壁小（5H）、喜屋武小（5H）、米須小（4H）、潮平小（13H） 糸満中（23H）、高嶺中（4H）、三和中（6H）、西崎中（21H）、潮平中（4H） 3月：兼城小（32H）、糸満小（1H）、糸満南小（9H）、高嶺小（20H）、真壁小（9H）、喜屋武小（8H） 米須小（17H）、西崎小（9H）、潮平小（23H）光洋小（10H） 兼城中（24H）、糸満中（53H）、高嶺中（20H）、三和中（21H）、西崎中（60H）、潮平中（48H）
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	- 児童生徒、保護者の悩み等の軽減につながっている。 - 児童生徒のみならず、保護者へのカウンセリングの実施により家庭環境の改善につながっている。 - 担任等へフィードバックが行われることにより、児童生徒への適切な支援につなげられた。また、児童生徒への理解が深まり学級運営に生かすことができた。 - 県の配置するスクールカウンセラーの時間数では十分に対応できないところを補うことができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	- 県が配置するスクールカウンセラーを活用するため、県との調整が必要。 - 予算の確保。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
15	学校教育課	遠隔・オンライン学習の環境整備、G I G A スクール構想への支援事業	115,327,740	115,327,740		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境 整備		R2.10.15	R3.3.19	学校教育課	098-840-8165

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①GIGAスクール構想における児童生徒一人一台の端末整備を行う
	【対象者】 ④学校施設管理者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	市内小中学校のICT教育を推進し、且つオンライン授業にも対応可能となるように児童生徒一人一台端末の整備を行なった。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	2 効果的であった	成果 指標	設定なし
	市内小中学校全ての児童生徒に端末を支給してICT教育の推進を行うことで、児童生徒の興味関心を引き、わかりやすい授業を行うことができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	端末の整備、維持管理に多額の費用を要する。今後導入見込の液晶電子黒板との連携等により、より利便性の高いわかりやすい授業を行うことができる。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
16	こども未来課	ひとり親家庭への臨時特別給付金			14,680,000	<u>14,680,000</u>
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.6.1	R3.3.31	こども未来課	098-840-8191

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けているひとり親世帯の生活支援の一環として、児童扶養手当を受給する世帯に対し、臨時特別給付金を支給。
	【対象者】 ④ひとり親家庭

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、その実情を踏まえた生活の支援を行うため、ひとり親世帯に対し臨時特別給付金を支給した。 ■対象者下記のいずれかに該当する者に対し給付金を支給した。 (1) 令和2年6月分の児童扶養手当の支給を受けているもの (2) 令和2年5月までに児童扶養手当の申請を行い、その後認定を受けたもの ■支給金額支給金額は、児童1人につき1万円 ■支給時期は、令和2年8月28日から順次対象者に支給を開始。総1,487名の児童に対して支給を行った。

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	子育て世帯生活支援特別給付金（児童一人あたり1万円）を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事をひとりで担う低所得者のひとり親世帯への子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うことができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	増額での支給や事業の継続を求める要望があった。
-----------	-------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
17	保育こども園課	認可外保育施設新型コロナウイルス感染症対策事業		5,040,880	<u>4,749,690</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R2.7.1	R3.3.31	保育こども園課	098-840-8131

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①認可外保育施設での登園自粛に係る減免費用を支援することで、減免制度の実施を促進し保護者の登園自粛の判断を容易にし、登園自粛によって感染リスクを軽減する。
	【対象者】 ④市内認可外保育施設

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	認可外保育施設において、登園自粛をした世帯の保育料減免を実施した施設に対して、0-2歳児は42,000円、3-5歳児は37,000円を補助上限とし、認可外保育施設に補助を行った。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	本補助の対象となった児童は延べ2,429人、5,040,880円の補助を実施し、密を回避する登園自粛が促進され、認可外保育施設で感染の拡大を防止した。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	登園自粛の理由を問わずに補助を実施した。児童発熱等、感染リスクに着目した登園自粛についてのみ補助を行った方が、適切な費用対効果となる。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
18	中央図書館	公共施設等の管理維持体制持続化事業	4,693,100	<u>4,693,100</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.6.9	R3.3.31	中央図書館	098-995-3746

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として図書館が感染源となることがないように、窓口や図書館内の感染予防対策を実施する必要がある。
	【対象者】 ④市中央図書館

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・飛沫感染防止用パネルの購入。 ・来館者用の手指消毒用スタンド（足踏み式）、AI検温サイネージの購入。 ・館内除菌用の次亜塩素酸小型発生装置の取付および噴霧器の購入。 ・予約資料を非接触受取りするための予約ロッカーの導入。 ・マスク、消毒用アルコール、石鹸等消耗品の購入。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1 非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	・窓口での対応等で必要な飛沫感染用パネルを設置し、利用者・職員の安全を確保。 ・発熱やマスク未着用者を来館時に即、発見することでマスク着用の呼びかけなど必要な対応ができた。 ・当初は、館内を手作業ですべて除菌していたが、噴霧器の導入により作業を簡略化。 ・図書除菌機の導入により、図書資料を安全に除菌。 ・マスク未着用者へのマスク提供。（マスクの確保が困難な時期はペーパータオル等で簡易マスクを作成）			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・パネル越しでマスクを着用しているため、耳の聞こえの悪い高齢者の方などへの対応が困難だった。話し方を工夫し、必要な情報はポスター等で掲示するなどし対応。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
19	総務課	新型コロナウイルス感染拡大防止事業	25,336,908	25,336,908		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.12.1	R3.5.31	総務課	098-840-8113

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症対策として役所が感染源となることのないよう、窓口や会議室などの感染予防対策を実施する必要がある。
	【対象者】 ④市民、職員、会議・研修・講習参加者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・時間外勤務手当（庁舎内消毒業務など） 162,429円 ・消耗品費（手指消毒用アルコール、アクリルパネルなど） 2,159,850円 ・委託料（庁舎入口での来庁者の検温、手指消毒業務など） 3,104,904円 ・設計管理委託業務（庁舎会議室・執務室換気対策工事） 499,400円 ・工事請負費（庁舎会議室・執務室換気対策工事） 16,830,000円 ・会議室施設使用料（感染拡大防止のため） 11,660円 ・備品購入費（サーモグラフィ自動カメラなど） 2,568,665円
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1 非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	庁舎入口において、来庁者の検温、手指消毒を案内するための職員を配置し、また来庁者が触れる階段手すりやトイレ、待合ベンチなどの抗菌・抗ウイルス塗装を施すことにより、庁舎内でのクラスターの発生を抑えることができた。 コロナウイルス感染拡大防止対策として、執務室及び会議室の換気対策のための工事を行うことにより、庁舎内でのクラスターの発生を抑えることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	来庁者のマスク着用、手指消毒が定着してきている状況をみながら庁舎入口への職員の配置を今後も継続するか検討する必要がある。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
20	観光・スポーツ振興課、（一社）糸満市観光協会、（株）東洋企画印刷	観光プロモーション事業		19,626,000	<u>19,626,000</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援		R2.9.9	R4.2.28	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新たな生活様式に即した地域文化・スポーツ資源等を動画・ガイドブック等を制作・発信し、誘客に繋げる。
	【対象者】 ④市観光協会

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・令和2年9月から令和4年2月まで観光協会に対し、次の目的で業務を委託した。 ・アフターコロナを見据え、新しい生活様式に合わせた旅のスタイルを構築するため、市の魅力を地域ブランドとして情報発信するコンテンツを制作することで、観光客を本市に多く滞在させることで地域経済への波及効果を上げていく。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・観光ガイドブック（日本語18,000部、英語/韓国語版2,000部、中国語等2,000部）、ガイドマップ5,000枚 ・観光PRムービー、VRコンテンツ動画 ・団体・MICEプランナー向けガイドブック1,000部 ・修学旅行誘致リーフレット1,000部 ・観光ガイドブック設置・送付先（県内12,695部、県外3,150部） ・上記の設置・配布等により、市内の観光PRができた。 ・令和4年度にオープンしたシャボン玉石けん くくる糸満、琉球ホテルもガイドブックに掲載しており、市外、県外等観光客の利用者も多い。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・ウィズコロナ、アフターコロナを常に意識し、最新の観光情報を発信する必要がある。 ・そのため、市ホームページ等において更新作業等、早期情報発信を行っていく。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
21	観光・スポーツ振興課	Reいとまん観光誘客促進事業			4,851,000	4,851,000
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援		R3.1.8	R3.3.15	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナ禍で旅行がキャンセルとなった団体及び新規団体の誘致促進により、地域経済の活性化を図る。
	【対象者】 ④修学旅行等団体、市観光協会

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・コロナ禍で売り上げ減となった市内の地域特産品業救済と併せてアフターコロナを見据えた産業持続化のため、市が地域特産品を買い上げ、本市で宿泊及び宿泊予定が中止となった学校に対し、地域特産品を贈り、今後の誘致促進のため実施した。 ・令和3年3月に特産品購入（市内観光事業者_10事業者）、特産品送付（修学旅行を予定していた学校、スポーツキャンプ・合宿チーム、姉妹・友好都市等各種団体等_54団体）。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・市内観光事業者から、在庫品等の販売に有効であったとの声があった。 ・事業を実施した観光協会及び市へ、各学校から生徒たちの感謝やお礼の手紙等が多数届いた。 ・上記を踏まえ、観光事業者支援、観光PRに効果的であった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・特産品を送付した学校等が、その後、修学旅行で来沖しているかどうかの確認ができていない。 ・上記を成果指標として設定できるかどうかも含め、再検討する必要がある。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
22	観光・スポーツ振興課、市内小中学校 PTA、大里パークゴルフ愛好会	貸切バス利用促進事業		1,386,295	<u>1,386,295</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンター テインメント事業等に対する支援		R2.10.15	R3.3.30	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナで大打撃を受けている交通機関(貸切バス)の支援を行う。
	【対象者】 ④市内の団体(自治会・子供会・老人会など)

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・ コロナ対策に伴う貸切バス借上代の増額分補助_上限10万円（①1台利用する貸切バスを2台に増やして実施する場合の2台目の貸切バス料金の実費を補助、②中型貸切バス1台のところ、大型貸切バス1台に規格を大きくする場合の増額分を補助） ・ 令和2年10月～3月まで、市内小学校PTA11団体、中学校PTA 1 団体、市内スポーツ愛好会 1 団体、計13団体へ補助金を交付。 ・ 補助金交付団体は、市内バス事業所 3 団体を活用
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	2 効果的であった	成果 指標	設定なし
	・ 修学旅行等バスを活用する際の、市民負担の軽減となった。 ・ 市内バス事業所からもコロナで利用者が減った中で、助かったとの意見があった。 ・ バス車両を増やしたことにより、コロナ感染防止対策につながった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・ コロナ禍もあり、市内の自治会等の活用は少なかった。 ・ 市広報等の周知徹底が必要。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
23	観光・スポーツ振興課、NPO法人糸満市体育協会　ほか17団体	賑わい創出支援事業		10,429,326	10,429,326	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援		R2.10.12	R4.3.31	観光スポーツ振興課	098-8408135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナ禍で中止となった伝統行事等の代替として、新しい生活様式に即した文化・ライブエンターテインメント等を支援し、地域活性化に繋げる。
	【対象者】 ④新しい生活様式を遵守した実行委員会(行政構成含む)・団体

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	○令和2年に市内18団体へ補助金を交付（100万円コース5団体、50万円コース13団体） ・令和2年10月 市HPやチラシ等にて事業公募 ・令和2年12月 交付申請〆切、事業審査、交付決定、概算交付 ・令和3年1月～事業実施 ・令和2年度で終了 5事業 ⇒ 補助金確定、精算 ・令和3年度へ繰越 13事業 ・令和3年度事業実施 ⇒ 令和4年3月 補助金確定、精算

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・コロナ禍でイベントの中止が相次いだ中、民間が独自で考えたウィズコロナを踏まえた事業展開への補助金交付ができた。 ・実施した団体から、コロナ感染対策を行ったイベントを行うことで、地域の市民を巻き込んだ事業展開ができ、地域活性化の一助にもなったとの声があった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・補助金交付団体が多数あることや、コロナ禍もあり、思うような事業展開ができなかった。 ・今後は、伝統行事等の代替として実施した事業の継続性については確認を行っていく必要がある。 ・これまでは市が直接実施しているイベント等についても、民間や団体が中心となり実施できた。コロナ対策を行っている市の事業を、アウトソーシングも含め検討したい。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
24	糸満市観光協会	スポーツイベント誘客促進事業		4,985,700	4,985,700	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援		R3.1.7	R4.3.18	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナ禍で疲弊した地域に対して、スポーツイベントの開催により、誘客を通じた地域活性化に繋げる。
	【対象者】 ④市観光協会

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 令和4年2月 事業の周知を行う（新聞広告、横断幕設置、ホームページ、市広報） - 令和4年2月～3月 オンラインイベント実施（18名参加）
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	3	あまり効果的ではなかった	成果指標	設定なし
	・度重なる行動制限により延期を余儀なくされたことで参加人数が少なく、事業の目的である観光誘客に繋げることにに対しあまり効果的ではなかった。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	今回実施したスポーツイベント以外で観光誘客に繋がる内容の確立が必要。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
25	観光・スポーツ振興課	グリーンスローモビリティ導入事業			5,588,630	5,588,630
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援		R3.9.15	R4.2.28	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナ禍で疲弊した観光業の回復に向け、モビリティ車の導入により、周遊観光の造成を図る。
	【対象者】 ④備品購入(車両)

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 令和2年で事業化したのが、コロナ禍もあり、契約等の調整等に時間を要し、令和3へ繰越。 - 令和3年9月 沖縄ヤマハと契約し購入。 - 令和4年3月 納車。 - 令和4年5月 地域おこし協力隊、観光協会、民間事業所がタイアップし、GSM（グリーン・スロー・モビリティ）を活用し、観光客向け、モニターツアーを実証。 - 令和4年6月 三和中学校大度分校の体験学習に活用
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	3	あまり効果的ではなかった	成果指標	設定なし
	・モニターツアーのアンケートによると、モビリティ車の回答は概ね肯定的であり、「気持ちいい、静か、風景がよく見える、初めての体験」という意見があった。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	- モニターツアーで GSM 利用が好評ながら（静か、気持ちいい）、ツアーの妥当金額に関する回答を見ると、観光協会が行っている事業の『あるつく』（市内を散策する商品）と僅かな差（GSM の場合は+500 円付加価値の回答）であり、単にランドカート利用の投資回収を加味するとツアーの付加価値を上昇するか、ローテーションの回数を上げるかの工夫が必要である。 - 上記を踏まえ、令和5年1月に、地域おこし協力隊、シャボン玉石けん くくる糸満とて旧正月を題したモニターツアーを予定。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
26	観光・スポーツ振興課、一般社団法人 糸満市観光協会	地域経済とくらしを支える商品券事業	182,651,623	182,651,623		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.9.18	R3.3.24	観光スポーツ振興課	098-840-8135

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナ禍で落ち込んでいる市内の消費喚起と、市民のくらしと雇用喪失を防ぎ、経済活性化に繋げる。
	【対象者】 ④市民、観光客

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・対象者：27,469世帯 ・令和2年9月：糸満市観光協会と契約、取扱事業者募集開始 ・令和2年10月：広報いとまん、FMたまん、自治連絡員会説明、横断幕設置など事業を周知、ハガキ応募開始 ・令和2年11月：商品券販売開始（登録店舗314店）、利用開始 ・令和2年12月：web受付開始、2次販売開始（道の駅いとまんアーケード広場）、観光客用商品券販売開始 ・令和3年2月：換金終了（換金率 プレミアム100 99.2%、プレミアム25 99.8%） ・プレミアム100の利用枚数511,750枚 プレミアム25の利用枚数175,958枚。 ・福祉部所管の介護や保育関係の商品券発送等も、同じ契約変更を行い実施。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1 非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	・利用枚数557,998枚（プレミアム100：511,750枚+プレミアム25：175,958枚）×500円＝343,854,000円と、コロナ交付金充当の1.88倍の経済効果につなげることができた。 ・登録店舗への聞き取りでは、売り上げ増につながったという意見が多かった。 ・市民のみならず、市外・県外の方からも、今後も定期的に行ってほしいとの声があった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・プレミアム100（2,500円）及びプレミアム25（4,000円）の販売価格やプレミアム率の変更など、市民が買いやすく魅力あるものにするための検討が必要と考える。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
27	健康推進課	緊急インフルエンザ予防接種助成事業	10,864,906	<u>10,864,906</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 3. 医療提供体制の強化		R2.10.1	R3.3.31	健康推進課	098-840-8126

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行による医療提供体制の逼迫回避のため、季節性インフルエンザ予防接種を助成し、発症リスクを最小限にすることで医療機関への受診行動者を減少させる。また、本業務遂行のための会任職の配置が必要である。（対象者へ案内の発送、接種に関する周知活動、電話及び窓口対応、未接種者への連絡等）
	【対象者】 ④市内在住者で15歳以下(中学生以下)及び妊婦

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・市内在住の生後6ヶ月から中学生及び妊婦に対し、インフルエンザ予防接種の費用助成を行った。 ・令和2年10月26日から令和3年2月28日までの期間実施。 ・生後6ヶ月から小学生は、助成回数2回で1回につき1,500円を助成。 ・中学生及び妊婦は、助成回数1回で1,500円を助成。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・対象者へ助成を行うことにより、季節性インフルエンザの発症リスクを最小限にすることで、医療機関への受診者を減少させることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・例年よりインフルエンザ予防接種の希望者が増加したため、ワクチンが不足し、早期に予約を制限する医療機関もあった。今後も感染拡大時のワクチン不足が懸念される。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
28	こども未来課	新生児特別定額給付金		28,792,516	28,792,516	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援		R2.8.3	R3.5.31	こども未来課	098-840-8191

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症の影響により、妊産婦や新生児を抱える家庭は感染防止への取組みを強化する必要があることから、国の特別定額給付金の対象とならない基準日の翌日以降から今年度中に出生した新生児の父又は母を対象に、新生児特別定額給付金を支給する。
	【対象者】 ④令和2年4月28日から令和3年3月31日までの間に出生した新生児の最初の住民登録が本市であること。

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・申請者：594名 ・令和2年7月：新生児特別定額給付金案内を通知 ・令和2年8月：糸満市HPに案内掲載 ・令和2年8月4日：申請開始。毎月1回、申請があったものへ振込を行う（ひとり5万円） ・令和3年3月：未申請者に案内を通知 ・令和3年5月31日：申請期限終了 ・令和3年6月11日：最終支払完了
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	・申請者594名で、支給額29,700,000円。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のもと、本市の次世代を担う子どもの出産を支援するとともに、妊産婦や新生児を抱える世帯の経済負担の軽減を図ることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	対象者が年度内の新生児であるため、翌日以降に出産された非対象者の保護者から「昨日産まれた子と今日産まれた子で何が違うんですか」との問い合わせがあった。国の特別定額給付金の事業であることや今年度だけの事業であることを説明したが、事業継続を求める要望があった。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
29	こども未来課、（一社）ゆいまーる協会、（一社）こどもカフェ@よつば	子ども食堂支援事業	127,529	<u>127,529</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.10.15	R3.3.31	こども未来課	098-840-8191

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①子ども食堂を運営する団体に補助金を交付することにより、持続可能な仕組みを構築
	【対象者】 ④子ども食堂事業主体

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	新型コロナウイルス感染症対策に要する消耗品、賄材料費を補助した。 ・補助金交付決定 令和2年12月1日 事業者：2か所 ・補助金交付 令和2年12月24日 ・補助金確定 令和3年3月31日

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	新型コロナウイルス感染症対策に要する費用や弁当配布用の容器代等が賄えたので助かった、コロナ禍で子ども達に食事を提供することができ効果的だったと意見がある。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	短期間の事業であったため、事業継続の要望があった。
-----------	---------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
31	保育こども園課	公立こども園屋外環境整備事業		24,706,000	24,706,000	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見		R2.10.27	R3.6.8	保育こども園課	098-840-8130

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①公立こども園の園庭に日よけネットを設置し、園児の屋外での活動を促進する。3密対策による快適な空間の創造及び熱中症対策。
	【対象者】 ④真壁こども園、喜屋武こども園、兼城こども園、糸満南こども園、西崎こども園

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・園児 285名（令和3年2月時点） ・令和2年9月 設置範囲等について、園関係者との協議。 ・令和2年10月～12月 実施設計 ・令和3年2月～6月 設置工事 ・令和3年6月 検査・引渡
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・新型コロナウイルス感染症対策において、3密対策を図りクラスターの発生を防止することが重要であることから、屋内での園児同士の適切な間隔が取れない状況にある場合、屋外活動のための日よけスペースが必要であった。園庭の一部に日よけネットを設置することにより、屋外活動時間を多く確保することにつながった。 ・園長や保育教諭から、園児の屋外活動を促進することができたとの声があった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・園からは広範囲への設置要望があったが、予算面から園庭の一部への設置となった。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
32	保育こども園課	保育実施事務事業（地方創生臨時交付金分）		1,487,168	<u>1,487,168</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R2.9.1	R3.3.31	保育こども園課	098-840-8131

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保育施設へ登園を自粛した世帯への保育料、給食費の減免・還付業務において事務人員の体制拡充を行うことで住民生活の迅速な支援を図る。
	【対象者】 ④糸満市

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	認可保育施設に対して、理由を問わず登園を自粛した場合、保育料の減免還付を実施したが、その手続きが迅速に行われるよう会計年度任用職員を採用し事務の迅速化に努めた。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	認可保育施設の減免制度は、市町村の任意で実施するものではなく、法で実施の義務が規定されている。 会計年度任用職員を採用することで、職員の負担軽減と、減免の実施の迅速化、減免が行われることで、保護者の登園自粛の判断を容易にした。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	特になし
-----------	------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
34	農政課、沖縄県農業協同組合、沖縄県酪農農業協同組合、金城商事	畜産農家コロナ対策支援事業（畜産農家経営継続支援事業）	32,512,895	32,512,895		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-2. 資金繰り対策		R2.10.1	R3.3.31	農政課	098-840-8134

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①畜産農家支援（飼料等にかかる費用を支援） コロナ禍の影響によりセリ価格下落の影響を受けた市内肉用牛生産者を対象に支援。また、山羊についても新型コロナウイルスの影響でセリが開催されていない状況もあり、高齢の生産者が多いことから、市内山羊生産者を対象に支援。 また、新型コロナウイルスの影響により学校休校等による牛乳の出荷制限・価格下落の影響を受けた市内乳用牛生産者を対象に支援を追加。
	【対象者】 ④市内肉用牛生産農家・市内山羊生産農家・市内酪農家（乳用牛生産者）

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・対象頭数：1,034頭(子牛655頭、山羊266頭、乳用牛113頭) ・事業説明会：令和2年10月、12月に開催 ・飼料購入支援期間：12月～2月
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	・畜産農家の経営継続を図ることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・特になし
-----------	-------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額	
35	商工水産課	くらし体感施設使用料	2,434,705	<u>2,434,705</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係	事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等 への支援	R2.4.1	R2.6.30	商工水産課	098-840-8137

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①コロナ禍対策事業者支援のため、くらし体感施設いとまー入居者の店舗使用料、バラ市使用料を令和2年4月から6月の全額免除により事業継続を支援する。 【対象者】 ④糸満市場いとまー入居店舗及びバラ市出店舗
-----------	--

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 対象者：一般店舗_27店舗、バラ市_8店舗 - 令和2年4月：減免申請受付、減免決定（一般店舗_22店舗、バラ市_8店舗） - 令和2年6月：減免申請受付、減免決定（一般店舗_店舗5店舗）
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・新型コロナウイルス感染症の影響により、オープンが令和2年4月から7月に延期となり、その間集客ができず店舗での売上が見込めない状況で、国の家賃支援給付金の対象外であったことから、オープンを延期した令和2年4月から6月の期間、店舗使用料の減免を実施することにより、入居店舗への効果的な支援となった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・新たな感染症による世界的な疫災ではあったものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等による外出自粛等の要請があるなかで、近隣の大型小売店等の食料品・日用品の販売店は経営に支障をきたすような大きな影響を受けていないことから、本施設においても、生鮮品・青果等の食料品を中心とした日用品の取り扱い増等により市場機能を高め、緊急時に使用料減免に頼る必要のない運営基盤の構築を図る。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
37	糸満漁業協同組合	地産地消促進事業			7,835,000	7,835,000
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.11.24	R3.5.21	商工水産課	098-840-8247

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルスの影響で消費が落ち込み、県外に出荷できなくなった魚等を冷蔵販売車を貸出することで、地域で販売することができる。魚の販売を促進することで魚価安定を促す。よって、漁業者の所得向上を図る。
	【対象者】 ④糸満漁業協同組合

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・対象者：糸満市全域 ・令和2年11月：交付決定通知 ・令和3年 3月：事業期間延長 ・令和3年 5月：交付確定通知 ・令和3年 7月：水産物移動販売開始（市内各所）
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	当初は、月曜日から金曜日の移動販売で主に公民館での販売を行っていたが、市内集合住宅への移動販売の要望があったため、土日に市内各団地に出向き販売を行うなど、利用者から概ね好評を得ている。 また、コロナ禍により水産物の販売が低迷していたが、移動販売車により地元水産物の販路拡大に繋げることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	企業やイベント等に出向き水産物の更なる消費拡大を図ることが重要である。
-----------	-------------------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
38	美々ビーチ指定管理者 (糸満観光協会・ドリームブリッジJV)	公共施設等の管理維持体制持続化事業	23,092,000	23,092,000		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-2. 資金繰り対策		R2.4.1	R3.3.31	商工水産課	098-840-8247

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルスの影響で利用者が激減する公共施設「美々ビーチ」の規模縮小による事業継続のため、地方創生臨時交付金を活用し事業継続や雇用維持等を行うことにより、管理運営の継続を行う。
	【対象者】 ④糸満漁港ふれあい公園特別会計、美々ビーチ指定管理者（糸満市観光協会・ドリームブリッジJV）

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・対象者：美々ビーチ指定管理者（糸満観光協会・ドリームブリッジJV） ・令和2年4月～令和3年3月：美々ビーチ施設の維持管理業務
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	コロナウイルス感染症拡大防止により、国からの緊急事態宣言の期間中において公共施設の閉園を実施。 ふるさと公園施設の維持管理を委託することで、緊急事態宣言解除後の速やかな開園に取り組むことができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	市が指定管理料を払わずに来園者などによる収益で公共施設を運営している指定管理者に対して、新型コロナウイルスの発生による閉園等で収益が得られない場合の経済的支援策を考える必要がある。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
39	建設課	市営住宅使用料減免分の財源組み替え	589,900	589,900		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援		R2.5.1	R3.3.31	建設課	098-840-8138

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により収入が減少した世帯を対象に、市営住宅の家賃の減免を実施することにより、より良い住環境の提供を行う。
	【対象者】 ④市営住宅入居者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	令和2年5月から令和3年3月末まで、市営住宅入居者18世帯に対し家賃減免を行った。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯に対し家賃減免を行うことで、入居者の生活安定を図り、より良い住環境の提供を行うことができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	特になし。
-----------	-------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
40	都市計画課	公的空間安全・安心確保事業			567,160	567,160
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.10.1	R2.10.15	都市計画課	098-840-8141

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①社会体育施設における各種大会等に備え、サーモグラフィー、検温器を設置し、感染対策を行う。
	【対象者】 ④公共施設指定管理者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	西崎運動公園内施設の出入りに設置し、入館の際の体温チェック及び入場制限を設けた。 備品等の購入日から現在も使用中。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1 非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	機械を設置することにより入館者の検温のための人員配置が不要となり、業務を軽減することができた。また、体温管理や入場制限を設けたことで、新型コロナウイルスの集団感染や濃厚接触のリスクを軽減することができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	特になし
-----------	------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額	
41	都市計画課	公共施設等の管理維持体制持続化事業等	37,038,302	37,038,302	
単独/補助	経済対策分野との関係	事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-2. 資金繰り対策	R2.4.1	R3.3.31	都市計画課	098-840-8141

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①西崎運動公園等施設管理に於いて新型コロナウイルス感染症対策を講じるため更衣室等の換気窓を増設、またはトイレなどの環境整備等に対する支援経費。
	【対象者】 ④公共施設指定管理者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	令和2年4月1日から令和3年3月31日の期間、更衣室排煙窓改修、トイレ改修、コロナ対策用備品購入、屋外プール入場者管理に係る人件費、各種点検・検査費用、指定管理者支援
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1	非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	コロナ対策により指定管理者支援を実施し、都市公園施設にコロナ対策を行うことができた。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	特になし
-----------	------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
42	水道部 総務課	水道事業会計繰出金(水道料金減免)	29,176,718	29,176,718		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援		R2.9.1	R2.10.31	水道部総務課	098-995-2456

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける住民の生活支援のため、水道料金減免による経済支援を行う。
	【対象者】 ④糸満市水道事業会計、水道利用者全世帯

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・上水道料金の基本料金の半額減免 ・対象用途：家事用、営業用、共用 ・対象世帯及び事業所：25,502世帯(事業所)×2ヶ月分 ・減免金額：29,176,718円(2ヶ月分) ・交付金活用期間：令和2年9月～令和2年10月(令和2年6月～令和2年8月までの3ヶ月間は水道部自主財源活用) ・糸満市水道料金及び下水道料金の減免に関する規程に基づき実施
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	2 効果的であった	成果 指標	設定なし
	・当初、予定した対象用途、対象世帯の減免を全て完了した。 ・水道料金減免を行うことにより、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市民の経済的支援を行うことが出来た。 ・糸満市水道料金及び下水道料金の減免に関する規程に基づき、速やかに減免を実施することが出来た。 ・水道料金減免後、多くの市民から反響(問い合わせ)があり、減免の継続や再開について多くの要望を頂いた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・市民及び事業者への周知を広報紙やホームページを活用して行ったが、減免後、市民からの問い合わせ(反響)が多かった。相応の期間を費やして、広報周知の強化(SNS等の活用)が必要。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額	
43	教育委員会 総務課	新型コロナウイルス感染症対応（衛生環境改善）事業（小中学校・こども園）	78,748,000	<u>71,939,527</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係	事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	R3.1.15	R4.3.31	（教）総務課	098-840-8160

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①和風便器を洋風便器及び手洗水栓を改修し、新型コロナウイルス感染症拡大を防止する。
	【対象者】 ④小学校、中学校、こども園

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	糸満市内小学校、中学校及びこども園において、和式トイレを洋式トイレへ改修を実施、また、トイレに関する手洗い場の手動式水栓を自動式水栓へ取替を行った。 ・洋式便器数：小学校26カ所・中学校86カ所・こども園4カ所 計116カ所 ・自動式水栓数：小学校166カ所・中学校139カ所・こども園83カ所 計388カ所

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	・児童生徒等の使用する便器を洋式化することにより、使用時の衛生環境の確保が出来た、また、トイレ使用後の手洗い動作を自動水栓式に改修することにより水栓器具の非接触により感染症対策につながった。 ・学校関係者から改修について感染症対策の効果が期待できるとの意見が得られた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・水栓トイレにおける洗浄方式を手動式ではなくセンサー式（自動式）に改修できれば、非接触による更なる衛生環境の確保が充実できると思われる。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
45	学校教育課	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGA スクール構想への支援事業	2,421,818	<u>2,234,818</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境 整備		R3.1.15	R3.3.16	学校教育課	098-840-8165

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①遠隔学習を実現するために、通信環境の構築、教職員の新技術対応への支援を行い、学習環境の充実を図る。ネットワーク環境を有しない経済的に困窮する世帯へモバイルルーターを貸与し、家庭学習環境の構築を図る。
	【対象者】 ④市立小中学校、市立小中学校に在籍する児童生徒のうち経済的困窮世帯

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	タブレットを利用した遠隔学習を実現するために、市内小中学校16校にGIGAスクール光回線の整備工事を行った。さらに光回線にプロバイダ接続等を行いタブレットが利用可能な環境を整備した。また、全児童生徒のタブレットにchromebookフィルタリングの設定を行った。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	2 効果的であった	成果 指標	設定なし
	市内小中学校16校にGIGAスクール光回線の整備工事及びプロバイダ接続を実施することで、学校においてGIGAタブレットが使用できる環境を整備し、併せて学校閉校時の遠隔学習にも対応可能とした。また、全児童生徒のタブレットにchromebookフィルタリングの設定を行い、タブレット使用時の不適切サイト等の閲覧対策を行い、児童生徒のオンライン学習環境の向上に努めた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	学習時の児童生徒のタブレットの管理について、現在chromebookのフィルタリング設定を利用しているが、簡易な機能であるため、児童生徒のタブレット画面の確認・管理（閲覧画面確認、任意画面のタブレットへの送信等）等は不可能である。今後授業等においてタブレット使用状況の管理が必要となった場合は、有償の授業支援ソフト等の導入について検討する必要がある。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
46	(有)伊敷工業、(有)宜野座産業、(株)西崎興業	社会体育施設トイレ改修事業	1,571,080	<u>1,571,080</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	I - 1. マスク・消毒液等の確保		R3.1.6	R3.3.30	社会体育課	098-840-8164

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①トイレを洋式（蓋付き）に改修することで、排便による新型コロナウイルス感染症の感染を予防する。
	【対象者】 ④社会体育施設（屋外運動場、児童体育施設）のトイレ

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・社会体育施設（屋外運動場、児童体育施設）のトイレを和式から洋式に改修を行った。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・社会体育施設が所在する自治会からトイレの改修により安心して施設利用できるようになったとの意見があった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・トイレの改修だけではなく、手が触れる場所の抗菌対応等の感染対策が必要。
-----------	--------------------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額	
48	【消防】総務課	新型コロナウイルス感染症予防対策事業			7,883,876	7,883,876	
単独/補助		経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独		I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.9.1	R3.3.31	消防総務課	098-992-3661

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染防止対策。 消防庁舎内、救急車内部及び救急資器材の完全除染。 【対象者】 ④糸満市消防本部
-----------	--

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	消防職員及び来署者の感染防止を図るため、感染症予防対策用品を購入した。 ・消毒用品一式（消毒液、消毒用スタンド、ビニール手袋） ・サーモグラフィ自動カメラ ・オゾン除染機（庁舎用、救急車用） ・洋式便器 ・仮眠室用カーテン
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1	非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	消防本部内入口での検温及びマスク着用の検知により、消防本部内での新型コロナウイルスへの感染リスクを軽減させることができた。また、消毒液やオゾン除染機の活用により職員や来署者の安心・安全にも繋がった。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	感染症予防対策として、庁舎内への抗ウイルス・抗菌加工等の感染症対策が必要。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
49	税務課	新型コロナウイルス感染拡大防止事業	308,796	308,796		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①- I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.12.23	R3.3.31	税務課	098-840-8128

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①確定申告時の集客による集団感染リスクの軽減を目的とする。申告会場での受付を電子化し、順番票の配布と電子モニターによる掲示を行い、待合い席の固定化を無くし、三密改善の効果とする。申告会場内のテーブルにて、隣接する個人間にアクリルパネルを設置し、飛沫感染予防の効果とする。
	【対象者】 ④確定申告会場への来訪者及び対応職員

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・確定申告会場で三密回避に取り組んだ。 ・実施期間：令和2年2月10日（水）から3月15日（月）まで ・電子受付方式を採用し順番票の配布をした。 ・待合席を1階、2階、2階の屋外にまで範囲を広げた。 ・順番が来たら大型モニターに番号を掲示し、マイク放送で呼び出した。 ・申告会場内の二人掛けテーブルに飛沫感染防止の仕切り板を取り付けた。 ・対象者は市民及び職員
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1 非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	・約1カ月間の申告期間において申告者数6,549人の受付を済ませた。常駐の職員も感染することなく無事に業務を終了することができた。 ・申告受付の際に市民から、「順番票の配布と番号呼び出し放送があるので安心して待つことができて良かった」とお褒めの言葉をいただいた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・呼び出し用の放送設備について他課から借用したが業務で借りられない時期があり、購入するべきであった。 ・大型モニターも他課から借用したが、別事業で借りられない不安があるため購入するべきであった。 ・受付機器ipadを2台で運用したが、2台では事務手続きが大型モニターに写しだされる症状があるため、3台購入するべきであった。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
50	行政経営課 情報政策係	テレワーク環境構築事業		1,977,140	<u>1,977,140</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		R2.12.15	R3.3.31	行政経営課	098-840-8158

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてのテレワーク環境を構築するため 【対象者】 ④テレワークを行う市職員
-----------	--

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 令和3年度テレワークPC等貸出件数：32件 - 令和4年度テレワークPC等貸出件数：38件（12月16日時点）
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1	非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、在宅ワークを希望する職員にリモートワーク環境を提供する事が出来た。 ・自宅待機を要した職員が、リモートワークにより自宅で業務を継続する事ができた。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	テレワーク用アカウントは現在J-LISのご厚意により無償だが、有償提供になった場合アカウントの購入が必要となる。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
62	介護長寿課、糸満市観光協会、 (株) 東洋企画印刷	地域経済とくらしを支える商品券事業（高齢者）	30,071,044	<u>30,071,044</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.12.15	R3.3.31	介護長寿課	098-840-8114

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症の収束の見通しがたたないことにより、市敬老会の中止や外出自粛など不自由な生活を長期間余儀なくされ、また、新型コロナウイルス感染症に感染した場合に重篤化が懸念される高齢者に対して商品券を支給し、生活用品の購入を支援し、経済的負担の軽減や健やかな生活の維持、地域経済活性化に繋げる。
	【対象者】 令和2年11月30日現在、糸満市に住民登録がある75歳以上の高齢者（令和3年3月31日までに、75歳に到達する者含む）

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・対象者：5,909人 ・令和3年12月：広報いとまん、市ホームページで事業を周知 ・令和3年12月：対象者へ商品券を送付 ・令和4年2月：換金終了（換金率 95.4%） ※配布枚数58,870枚、利用枚数56,141枚
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・換金率が95.4%であり、高齢者の経済負担軽減に繋げることができた。 ・利用枚数56,141枚×500円＝28,070,500円となり、地域経済活性化に繋げることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・未使用分の商品券があるため、市民が余裕をもって利用できる使用期間を設定する必要がある。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
52	保育こども園課	地域経済とくらしを支える商品券事業（医療・福祉従事者）		10,049,000	<u>10,049,000</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化		R2.12.1	R3.3.31	保育こども園課	098-840-8131

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染拡大が続く中、医療従事者、介護施設従事者、障がい福祉施設従事者、保育施設従事者など社会インフラを支えるため施設の運営を続けている。そうした中、医療従事者、介護施設従事者、障がい福祉施設従事者には、厚生労働省より慰労金の給付が行われているが、保育施設従事者には給付が行われていない。保育施設従事者も他の職種と同様に感染リスクを抱えながら業務を続けている事から、感謝と慰労の気持ちを込めて糸満市独自で商品券を無償で支給する。これにより、職員の負担軽減、負担に伴う離職回避を図り事業の継続を支援すると同時に、市内での商品券の利用により地域経済活性化に繋げる
	【対象者】 ④医療従事者、介護施設従事者、障がい福祉施設従事者、保育施設従事者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	保育施設を通して、保育従事者等に対して商品券を配布した。
-----------	------------------------------

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	20,600枚配布され、20,098枚が使用された。高い使用率から、保育従事者の慰労と、市内の経済活性化につながった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	配布枚数に対して、100%使用率を達成するため、使用について周知回数を増やす必要がある。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
53	生涯学習課、(一社)沖縄キャリア教育支援企業ネットワーク、中学校、地域企業・団体	新型コロナウイルス感染拡大防止事業（生涯学習支援センター）	714,380	<u>714,380</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①- I - 1. マスク・消毒液等の確保		R3.3.10	R3.3.31	生涯学習支援センター	098-992-2869

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①生涯学習支援センターの入り口（2カ所）、サークル室における新型コロナウイルスの感染及び感染拡大への予防を徹底する。
	【対象者】 ④市民、職員、会議・研修・市民講座参加者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・対象者：13,037人 ・令和3年3月：生涯学習支援センター入り口2カ所に非接触型体温計顔認識自動カメラ（サーモグラフィカメラ）を設置し、手指消毒後にペーパータオルを使用した。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・検温及び手指消毒が徹底され新型コロナウイルス感染拡大防止に効果的であった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・新型コロナウイルスの5類への移行後も感染症に対する注意が必要である。
-----------	-------------------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
54	糸満市青少年センター	新型コロナウイルス感染拡大防止事業（青少年センター）		417,200	417,200	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①- I - 1. マスク・消毒液等の確保		R3.3.12	R3.3.31	学校教育課	098-840-8165

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①青少年センターの視聴覚教室、相談室における新型コロナウイルス感染及び感染拡大への予防を徹底する。
	【対象者】 ④市民、職員、会議・研修・青少年向け講座参加者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	令和2年度3月に「非接触型体温計」1台・アクリルパネル15枚・パネルスタンド15台を購入。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	・非接触型体温計を青少年センター入口に設置することで、遅延なくスムーズに体温測定ができ、新型コロナウイルス感染症の感染対策を図りながら青少年センターを運営できた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・コロナ禍の現状を適確に把握するため、各関係機関との連携を強化する。
-----------	------------------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
55	秘書広報課	新型コロナウイルス感染拡大防止事業（広報事業）	1,100,000	<u>1,100,000</u>		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①- I - 6. 情報発信の充実		R3.3.19	R3.6.30	秘書広報課	098-840-8119

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルス感染症対策情報等（ワクチン接種情報含む）について、高齢者や情報弱者等で想定されるネット環境が整っていない家庭やパソコン等を持たない市民に対しても情報を届ける必要があるため、テレビのデータ放送を活用した広報力の強化を図る。
	【対象者】 ④市民

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	令和3年3月 データ放送用フォーマット制作委託契約締結 令和3年4月 データ放送用フォーマット制作完了。その後本格運用開始。

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	2 効果的であった	成果指標	設定なし
	費用対効果については、データ放送視聴率があげられるが、QAB側からは今のところ視聴率の提示は技術的にできないと回答がある。データ放送画面のQRコードをスマホで読み取り、市HPへのアクセス数と件数での確認を考えたが、スマホからの件数としかカウントされないため、現時点で普及率をはかるデータは見当たらない。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	データ放送は、インターネット環境の整っていない世帯、機器操作に不慣れな年代に向けた情報発信ツールであり、普及率の高いテレビを活用し行政情報が即座に得られる情報機器である。インターネットを日常的に利用している世代が年齢を重ね次の世代にスライドするまでの間、引き続きデータ放送は必要と考える。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
56	都市計画課	公園施設トイレ改修事業			7,590,000	7,590,000
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①- I - 1. マスク・消毒液等の確保		R3.5.17	R3.8.13	都市計画課	098-840-8141

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①トイレを洋式（蓋付き）に改修することで、排便による新型コロナウイルス感染症の感染を予防する。 また、予防の観点から、併せて手洗い水栓の取替を行う。
	【対象者】 ④都市公園施設のトイレ

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	和式トイレから洋式トイレへ改修及び水栓をレバーハンドルに交換した。また、それに伴う付帯工事をした。
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	洋式トイレに替えることで排便による空気感染を予防できた。また、水栓をレバーハンドルにすることで、接触による感染を予防できた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	予算の兼ね合いもあり、所々の改修しかできなかった。
-----------	---------------------------

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
57	商工水産課、市観光協会、沖縄県行政書士会	市内事業者支援給付金事業			48,990,000	48,990,000
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
地方単独	①-Ⅱ-2. 資金繰り対策		R3.4.1	R3.9.30	商工水産課	098-840-8137

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 ①新型コロナウイルスの感染拡大に伴い発出された緊急事態宣言により、市民や事業者の活動が自粛され、厳しい経営環境にある市内事業所等に対して事業継続を支援するため、緊急支援金を給付する。
	【対象者】 ④市内事業所、個人事業主

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	事業内容 ①糸満市観光関連等事業者支援給付金（申請サポート） ②一時支援金（申請サポート、相談）※国 ・対象者：糸満市内観光関連等事業者 ・令和3年4月：タクシー組合へ配布申請書配布依頼、観光協会HPにて案内、ラジオCM、観光協会会員へチラシ送付、商工会会員へチラシ送付、横断幕の設置、事業開始 ・令和3年5月：広報いとまん、市HPにて案内 ・令和3年7月：事業終了 ・糸満市観光関連等事業者支援給付金事業者数：370事業者 ・一時支援金（申請サポート、相談）61件

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	アンケートでも支援金のような現金がいいとの意見があったことから効果は高かったといえる。 また、国が行っていた一時支援金の申請補助、その他相談業務があったことから、事業者からは「ありがたい」との声もあり、効果は非常に高かったと思う。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	年度当初の事業で、担当が異動してきて間もなかったことから周知活動が後手に回ってしまった。 今後は、周知活動の徹底に努める。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
58	健康推進課	母子保健衛生費補助金			35,580	18,580
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①- I - 3 . 医療提供体制の強化		R2.10.1	R3.3.31	健康推進課	098-840-8126

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 （乳幼児健康診査個別実施支援事業） ①第2次の補助メニューとして母子保健衛生費補助金（新型コロナウイルス感染症の流行下における妊産婦総合対策事業及び乳幼児健康診査個別実施支援事業）がある。乳幼児健康診査を集団健診だけでなく、個別健診の機会を拡げることで受診控えを減らし、健やかな成長発達を確認する機会となる。 【対象者】 ④集団健診を受けることができなかった、乳児（3ヶ月～11ヶ月）実施機関：市内小児科5カ所及び近隣市町村11小児科 計26所
-----------	---

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	- 対象児が、契約医療機関において個別で乳児健診を受診する。健診費用は無料。 - 令和2年度：助成件数 6件（6名） 内訳： 4ヶ月児 3名 6ヶ月児 1名 7ヶ月児 2名
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	2	効果的であった	成果 指標	設定なし
	新型コロナウイルス感染症により集団健診が中止や完全予約制に移行していく事となった。その中で乳児健診を個別で受診できる機会を設けることで、乳児期の発達等に対する不安の軽減等につなげることができた。また、医療機関側とも連携を取りながら離乳食相談などその後の支援につなげることができた。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団健診の実施方法を見直したことで健診へ案内することができた。また、集団健診においては、対象時期に幅をもたせるなど柔軟に対応し、結果的に個別健診受診希望が少なかった。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
59	障害福祉課（R4.4.1社会福祉課から分課）	障害者総合支援事業費補助金		68,530	17,530	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①- I - 8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R2.4.1	R2.6.30	社会福祉課	098-840-8103

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 （特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業） ①特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増加したことから、追加的に生じた利用者負担分について補助し、その負担軽減を図る。 【対象者】 ④放課後等デイサービス事業者
-----------	--

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増加した分の利用者負担について、補助を行った。 ・令和2年4月1日から令和4年6月30日までの利用について、臨時休業前（又は休業後）と比較し、利用者負担が増加した部分について、補助を行った。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	3	あまり効果的ではなかった	成果指標	設定なし
	・学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用日数の増加、単価の変更や、代替的支援により利用料が増加した利用者の負担軽減に繋がった。 ・一方、補助金の交付にあたり事務処理量が増加したが、対象者によるサービス利用が想定より少なかったため、補助額が1人当たり数百円程度と少額となり、費用対効果を鑑みるとあまり効果的ではなかった。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	今後、類似事業を実施する際は、本事業の積算や実績を踏まえ、より効果的な事業となるよう取り組む。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
60	社会福祉課	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	2,183,983	546,983		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①-Ⅱ-4. 生活に困っている世帯や個人への支援		R2.9.1	R3.3.31	社会福祉課	098-840-8132

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (自立相談支援機関等の強化事業) ①自立相談支援機関の体制強化により、相談者や支援の対象者に寄り添った、よりきめ細かな支援の提供を期待できる。 【対象者】 ④社会福祉協議会
-----------	---

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	生活困窮者自立相談支援機関に職員を2名増員し、生活困窮者の相談体制を強化。
-----------	---------------------------------------

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	住居確保給付金相談件数：604件 生活福祉資金（特例貸付）令和2年度相談件数 7,654件 コロナウイルス感染症拡大防止における経済の停滞により、生活困窮者の相談が急増し相談業務を圧迫したため、強化事業により相談体制を強化し対応できた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	令和2年度は、あまりにも相談者が多く、2名増員したが継続的な支援が必要と思われる相談者にきめ細かな支援ができなかった。 経済活動が停滞していたため、うまく就労に結び付かないまま給付金で生活が一時的に立て直せたとして、相談者との縁が途絶えたケースがあった。 給付金に頼らない生活の立て直しを支援していくきめ細かい対応が大切であるため、相談員の人員確保は課題である。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
61	こども未来課	子ども・子育て支援交付金	37,191,000	5,748,000		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①- I - 8 . 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R2.6.16	R3.3.31	こども未来課	098-840-8191

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (放課後児童クラブ事業) ①新型コロナウイルス感染症対策において、学校の休校による特別開所の支援、臨時休業させた場合の利用料の減免を行う。
	【対象者】 ④放課後児童クラブ

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	新型コロナウイルス感染症対策における市内21クラブに対する下記3つ。 ①新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる放課後児童クラブ運営者へのマスクなどの衛生用品の購入にかかる財政的な支援→感染拡大防止事業5,390,000円+9,179,000円=14,569,000円 ②市内小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの午前中開所にかかる財政的な支援。→開所日数事業費15,500,000円 ③新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、放課後児童クラブの利用を自粛した利用者への利用料を減免したクラブへの運営費の損失分を補償（本市からクラブ利用者の保護者に対する利用自粛要請期間：4/7～5/20・8/3～8/29）→利用料減免事業7,122,000円 総額 37,191,000円

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	新型コロナウイルス感染拡大防止するため、放課後児童クラブの衛生環境の整備および放課後児童クラブの継続的な事業運営のための財政的支援、および放課後児童クラブを利用する保護者の利用料の負担軽減を行うことができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	クラブ利用者に対しては、急激に新型コロナウイルスが感染拡大している状況の中、感染拡大のリスクを抑制するため、可能な限り家庭保育の協力を依頼したが、より利用者の目に触れるさまざまな媒体での広報周知の強化が必要。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名			総事業費	コロナ交付金充当額
62	介護長寿課	疾病予防対策事業費等補助金			6,930,000	<u>3,465,000</u>
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	②- I - 2 . P C R検査・抗原検査の体制整備		R3.1.8	R3.3.31	介護長寿課	098-840-8133

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業) ①高齢者は感染した場合に重症化するリスクが高いため、重症者を増加させないよう高齢者等の希望によりPCR検査を実施する。
	【対象者】 ④通所系サービス利用者

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	・実施期間：令和3年2月～令和3年3月 ・検査件数：630件 ・検査対象：介護保険通所系サービス利用者で検査を希望する者 ・検査方法：PCR検査 ・検体の採取法：だ液（自己採取） ・検体採取の場所：自宅又は通所サービス事業所 ・検体配送方法：県指定配送業者による拠点回収 ・検査実施機関：(株)AVS沖縄研究所 ・検査結果の通知：本人への通知が原則であり、市や事業所との情報共有に関しては事前に本人に同意済 ・検査結果を踏まえた対応：仮に陽性が出た場合は、事業所の提携している医療機関等の医師が診断し、感染症発生届を保健所へ提出することを想定
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	・65歳以上の高齢者611人、基礎疾患を有する者19人にPCR検査を行うことができた。 ・介護保険通所サービス等事業所における感染の早期発見、感染の拡大防止及び重症者の増加抑制に寄与することができた。 ・安心・安全な介護サービスの提供につながった。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	・高齢者が検体を採取する際の補助が必要となる場面があり、対応する事業所職員が不足していることがあった。 ・採取の補助を行うことにより、事業所職員への感染リスクが発生した。 ・上記の感染リスク等があり、またPCR検査機関が充実してきているため、今後は当該機関での検査により対応したい。
-----------	---

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
63	教育総務課、糸満市立小中学校	学校保健特別対策事業費補助金		2,223,000	<u>1,112,000</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①- I - 1. マスク・消毒液等の確保		R2.4.1	R3.3.31	教育委員会総務課	098-840-8160

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①各学校に感染症予防のためマスク等購入を支援し、感染及び感染拡大への予防を徹底する。 【対象者】 ④市立小中学校
-----------	---

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	対象：糸満市立小中学校 実施内容：消毒液、マスク（6,450枚）等の感染症対策物品の購入について、予算を配当し各学校の状況に合わせた感染症対応を実施した。 ・小中学校児童生徒数：6,540名×340円＝2,223,600円
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組 評価	1	非常に効果的だった	成果 指標	設定なし
	各学校に感染症予防のためマスク等購入を支援することで、集団感染のリスクを軽減し予防を徹底できた。				

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	マスク、消毒液、体温計等の感染症対策物品の購入を目的とした補助事業であることから、学校運営の変化（リモート授業、自宅学習、換気を強化して行う対面授業等）に対応できなかった。ただし、後継の類似事業にてこの点については改善された。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
64	学校教育課、市立小学中学校17校	学校保健特別対策事業費補助金		42,587,315	21,294,315	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①- I - 8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R2.4.1	R3.3.31	学校教育課	098-840-8165

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①各学校が段階的な学校再開に際して、感染症対策等を徹底しながら児童及び生徒の学習保障をするための新たな試みを実施する。
	【対象者】 ④市立小中学校17校

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	市立小中学校児童生徒数：6,540人 市立小中学校全17校 消毒液等の消耗品購入費：9,107,715円 大型扇風機・空気清浄機等の備品購入費：33,479,600円 合計：42,587,315円
-----------	---

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	市内小中学校における感染拡大防止対策を講じることができ、安心安全に学べる環境を整備することができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	今後増加が見込まれる変異株の特性や、withコロナ社会に対応する教育現場のニーズなど情報収集しながら必要な対策を講じていく。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名		総事業費	コロナ交付金充当額	
65	学校教育課	公立学校情報機器整備費補助金		23,973,400	<u>11,987,400</u>	
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速		R2.11.2	R3.3.30	学校教育課	098-840-8165

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①GIGAスクール構想を速やかに実現するために、学習用端末キitting作業、通信環境の構築、教職員の新技术対応への支援を行い、学習環境の構築を図る。
	【対象者】 ④市立小中学校

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	LAN工事調整・監理、タブレット充電保管庫の設置調整、学習者用タブレットのキitting（初期設定や必要なソフトを入れること）・台数管理、ネットワーク設定・管理、研修会、マニュアル作成、サポートデスク等の対応等を行った。
-----------	--

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	GIGAスクールタブレットを使用する際の、GIGA専用回線の整備・管理、ネットワークの設定、充電保管庫の設置調整、タブレットのキittingを行うことで、タブレットが使用できる環境を整えた。またタブレット使用の際のトラブル対応やヘルプデスク等による対応を行い、学校におけるタブレット使用の安定化に努めることができた。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	後年度に導入予定の液晶型電子黒板との連携時や生徒用デジタル教科書の使用時に、操作方法について教師、児童生徒への技術的なサポートが必要となる。
-----------	--

令和2年度

糸満市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

1 基礎情報（事業名、事業期間、交付金充当経費等）

単位：円

No.	実施主体	交付対象事業名	総事業費	コロナ交付金充当額		
66	教育総務課、糸満市立小中学校	学校保健特別対策事業費補助金	7,673,183	3,837,183		
単独/補助	経済対策分野との関係		事業開始日	事業完了日	担当部局	電話番号
補助事業	①- I - 8．学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備		R3.4.1	R4.2.28	教育委員会総務課	098-840-8160

2 事業概要（目的、効果、対象者等）

計画 (P)	【目的、効果】 (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が感染症対策等を徹底しながら、学校教育活動を円滑に運営することを支援する。
	【対象者】 ④市立小中学校17校

3 事業実績（何をしたか、どの時期に、どのように実施したのか等）

実行 (D)	感染症予防のため消毒液・マスク・備品等の購入や、子供たちの学びの保障のため各学校の状況に応じた教材や物品等の購入のための予算を配分した。
	学校数：17校 児童生徒数：6,540人 配分額：8,389,000円 ※各校への配分額については補助金交付要綱に基づき配分した。

4 事業効果（どのような成果（効果）があったのか）

評価 (C)	取組評価	1 非常に効果的だった	成果指標	設定なし
	感染症予防のため消毒液・マスク・備品等の購入や、児童生徒の学びの保障のため、各学校の状況に応じた教材や物品等の購入のための予算を配分し、学校教育活動の円滑な運営を支援できた。また、配分予算のうち91.4%を執行した。			

5 本事業に対する課題・改善等（更なる向上に向けた視点）

改善 (A)	既存設備の修繕を行うことで、衛生環境の向上につながるケースがあったため、小規模な修繕（天井扇のパーツ交換）も対象経費として認められるような事業の柔軟性が求められた。
-----------	--